

プッシュケア

株式会社MD. ネット

精神科医連携のプッシュ型メンタルヘルス支援サービス

https://www.md-net.co.jp/appointedoverseas_service/pushcare/

サービス分類・提供内容（選択式）			サービス概要・特徴（500文字以内）	
体制・業務構築支援	産業保健体制構築支援		本サービスは、海外赴任者および帯同家族を対象に、メンタルヘルス支援を中心とした包括的な健康管理サポートを提供する点を特徴としています。全対象者に対して、専門スタッフによる相談対応、医師・カウンセラーへの相談、現地医療機関の情報提供や受診支援、健康情報配信等を実施し、海外赴任中の不調や不安に対して継続的にアクセス可能な支援体制を構築しています。	
	健康経営推進支援	○		
	ストレスチェック制度対応支援	○		
	ハラスメント対策支援		さらに、導入企業のニーズに応じて、グローバルメンタルチェック（GMC）や赴任前面談・適性判定等による予防的支援、ならびに健康診断の予約代行・結果確認・再検査フォロー等の健康管理支援を組み合わせることで、赴任前から赴任中に至るまで一貫したサポートを提供します。	
	過重労働対策支援			
	復職支援に係る体制・業務構築支援			
	人事・労務向けアドバイザー	○	これにより、メンタルヘルス面・身体面の双方から従業員の健康を支え、企業の健康管理体制の強化および海外赴任者の安心・安全な就業環境の維持に寄与します。	
調査・分析支援（人的支援）				
現状把握・分析システム	ストレスチェックシステム	○		
	パルスサーベイ・従業員意識調査			
	健康・労務データ統合分析システム			
組織づくり・職場環境改善	組織開発コンサルティング			
	管理職向け研修	○		
	従業員向け研修	○		
管理職向け個別支援				
従業員支援	相談窓口・カウンセリング	○		
	セルフケア研修			
	セルフケア支援アプリ			
	復職支援	○		

期待される効果

根拠の詳細

【凡例*】○：実証評価>○：導入企業の評価>●：理論的裏付け		導入企業の評価	理論的裏付け	実証評価
基盤整備	1. 法制度対応			—
	2. 制度・施策体系の整理			—
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	○		—
	4. 組織状況の把握			—
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上			
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	○	●	◎
	7. プログラムへの参加率・利用率向上		●	◎
	8. 不調の早期発見・対応	○	●	◎
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	○		
	10. 仕事のストレス要因低減	○		
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上			
	12. 周囲のサポート力向上			
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善			
	14. 健康状態・心理指標改善	○		
	15. アブセンティーズム改善			
	16. プレゼンティーズム改善			
	17. ワーク・エンゲイジメント向上			
	18. 従業員エンゲージメント向上	○		
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）			

*ウエルコ上で掲載される際に複数の根拠がある場合は、凡例の優先順で表示されます。

理論的裏付け（500字以内）

実証評価

本サービスは、精神医学および産業保健の知見に基づき、海外赴任者および帯同家族のメンタルヘルス不調の予防および早期対応を目的として設計されている。海外赴任者は、文化・言語・生活環境の変化により心理的ストレスが増大しやすく、メンタル不調のリスクが高いことが指摘されている。また、従来のメンタルヘルス対策は自己申告型が中心であり、支援の遅れが課題とされている。本サービスでは、精神科医および専門職の関与のもと、プッシュ型のフォロー体制を構築し、個々の健康情報や状況に応じた継続的支援を実施することで、不調の早期発見・早期介入を可能とする。さらに、健康診断結果の活用や面談等を通じて身体面と心理面を統合的に把握し、リスクマネジメントおよび生産性向上に寄与することを目指す。

実証評価の結果概要（500字以内）

本サービスの導入により、海外赴任者に対するメンタルヘルスおよび健康管理の一体的な支援体制が構築された。特に、プッシュ型のフォローにより、本人からの相談を待たずに不調の兆候を把握し、医師面談やカウンセリングへ早期につなげることが可能となった。

また、健康診断の受診管理および再検査フォローを継続的に実施することで、受診率の向上や未受診者の減少、再検査対応の徹底が図られた。これにより、身体面・メンタル面双方におけるリスクの可視化と適切な対応が可能となっている。

これらの取り組みを通じて、メンタル不調の重症化予防、従業員の安心感の向上、企業における健康管理体制の強化および海外赴任者の安定的な就業継続に寄与している。

様式3 導入企業の評価

該当する効果		
基盤整備	1. 法制度対応	
	2. 制度・施策体系の整理	
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	○
	4. 組織状況の把握	
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	○
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	
	8. 不調の早期発見・対応	○
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	○
	10. 仕事のストレス要因低減	○
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	
	12. 周囲のサポート力向上	
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善	
	14. 健康状態・心理指標改善	○
	15. アブゼンティーズム改善	
	16. プレゼンティーズム改善	
	17. ワーク・エンゲイジメント向上	
	18. 従業員エンゲージメント向上	○
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）	

実施概要・結果
本サービスは、海外赴任者および帯同家族を対象に、メンタルヘルス支援を中心とした包括的な健康管理サポートを提供する点を特徴としています。 全対象者に対して、専門スタッフによる相談対応、医師・カウンセラーへの相談、現地医療機関の情報提供や受診支援、健康情報配信等を実施し、 海外赴任中の不調や不安に対して継続的にアクセス可能な支援体制を構築しています。 さらに、導入企業のニーズに応じて、グローバルメンタルチェック（GMC）や赴任前面談・適性判定等による予防的支援、 ならびに健康診断の予約代行・結果確認・再検査フォロー等の健康管理支援を組み合わせることで、 赴任前から赴任中に至るまで一貫したサポートを提供します。 これにより、メンタルヘルス面・身体面の双方から従業員の健康を支え、 企業の健康管理体制の強化および海外赴任者の安心・安全な就業環境の維持に寄与します。

成果・評価コメント ※「該当する効果」との対応がわかるよう（ ）内に効果のNoを付記する

当社では、海外赴任者および帯同家族が安心して現地生活・業務に専念できる環境づくりを重要課題と捉えており、言語・文化差や医療事情の違いから生じる心身の不安に対し、早期に気づき支援へつなげる仕組みが必要でした。一方で、海外の医療事情が把握しづらい中、社内だけの健康管理では十分な対応が難しいと感じており、現地での受診判断や治療方針の検討まで含めて専門的に伴走いただける体制を求めています。そこで、海外産業医の委託とあわせて一連の流れで健康管理を実施いただける「プッシュケア」を導入しました。導入後は、専門家の方から赴任者へ定期的に声掛けとフォローをいただくことで、本人が抱え込みがちな不安を早い段階で相談につなげられるようになりました。また、現地で治療や手術が必要となる場面でも、日本の医療と比較したうえで適切な選択肢や受診の進め方について助言を得られ、本人・会社双方の安心感が高まりました。継続的に見守り、必要時に具体的なアドバイスまで得られる有用な取り組みとして評価しています。

評価者情報				
個社ごとの評価結果を根拠とする場合	企業名①	非公開	業種	製造業
	部署名・役職	総務人事室 安全健康推進部 健康サポートチーム	従業員規模	10,000人以上
	企業名②		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名③		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名④		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
複数社からのアンケート結果を根拠とする場合	企業名⑤		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	アンケート対象及び回答社数			
	実施時期・方法			
	主な設問内容			

様式4 理論的裏付け

該当する効果		
基盤整備	1. 法制度対応	
	2. 制度・施策体系の整理	
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	
	4. 組織状況の把握	
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	○
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	○
	8. 不調の早期発見・対応	○
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	
	10. 仕事のストレス要因低減	
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	
	12. 周囲のサポート力向上	
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善	
	14. 健康状態・心理指標改善	
	15. アブセンティズム改善	
	16. プレゼンティズム改善	
	17. ワーク・エンゲイジメント向上	
	18. 従業員エンゲージメント向上	
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）	

採用する理論的枠組みの概要 ※「該当する効果」との対応がわかるよう（ ）内に効果のNoを付記する

本サービスは、産業保健および精神医学の知見に基づき、「予防・早期発見・早期介入」を軸とした包括的な健康管理モデルを採用している。海外赴任者は、文化・言語・生活環境の変化により心理的・身体的負担が高まりやすく、従来の自己申告型の支援では対応が遅れるリスクがある。そのため、本サービスでは受動型ではなく、プッシュ型のフォロー体制を導入し、個々の健康状態や環境要因に応じた継続的モニタリングと介入を行う。また、健康診断結果やストレスチェック等の客観データと、医師面談・カウンセリングによる主観情報を統合的に評価することで、多面的なリスク把握を可能とする。これにより、メンタルヘルスと身体健康を一体的に捉えた支援を実現し、企業におけるリスクマネジメントおよび従業員の安定的な就業継続に寄与する枠組みとして設計されている。

理論的枠組みの活用方法

本サービスでは、「予防・早期発見・早期介入」を軸とした理論的枠組みに基づき、赴任前・赴任中・帰任時の各フェーズにおいて段階的かつ継続的な支援を実施している。赴任前には、**適性検査**や**医師面談**を通じてリスクを把握し、必要に応じた対応を行う。赴任中は、基本情報、**赴任先情報**や**健康診断結果**、**相談履歴等の情報**を独自のカルテシステム（e-Karte®）により一元管理し、プッシュ型のフォローにより個々の状態に応じた**医療相談**や**カウンセリングを提供**することで、不調の兆候を早期に捉え対応につなげるこれらのプロセスを通じて、メンタルヘルスおよび身体の両面から一貫した支援を行い、リスクの低減と安定的な就業継続を実現している。

様式5 実証評価

実証 デザイン	介入・観察対象	海外赴任者および帯同家族。
	介入・要因	文化・言語・生活環境の変化に伴う心理的ストレスや孤立、医療アクセスの制約等により、メンタル不調や健康リスクが高まりやすい従業員層。 赴任前から赴任中、帰任までの一貫した健康管理・メンタルヘルス支援体制を構築。具体的には、適性評価（グローバルIQ（GIQ）・グローバルメンタルチェック（GMC））、医師面談、健康診断結果の確認、プッシュ型のフォロー、医療相談・カウンセリング、健康診断管理および再検査フォロー等を組み合わせ、予防・早期発見・対応を実施。
	比較対象	従来の自己申告型相談（不調発生後に本人が相談する受動的なメンタルヘルス対応のみを行う体制）。
	アウトカム	・メンタルヘルス不調の早期発見・早期対応 ・重症化および休職・離脱リスクの低減 ・健康診断受診率および再検査実施率の向上 ・赴任者および帯同家族の安心感の向上 ・企業の健康管理体制およびリスクマネジメント機能の強化
	エビデンスの水準	コホート研究（観察研究）
学術介入	学術介入の有無	学術研究機関等が介在しない独自の効果検証
	（学術介入有りの場合） 氏名・所属・専門、掲載文献・発表した学会・演目名	なし

該当する効果		
取組の 普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	○
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	○
	8. 不調の早期発見・対応	○
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	
	10. 仕事のストレス要因低減	
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	
心の健康・業務パフォーマンス	12. 周囲のサポート力向上	
	13. 生活習慣の改善	
	14. 健康状態・心理指標改善	
	15. アブセンティイズム改善	
	16. プレゼンティイズム改善	
	17. ワーク・エンゲイジメント向上	
	18. 従業員エンゲージメント向上	
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）	

実証結果
本サービスの導入により、海外赴任者に対するメンタルヘルスおよび健康管理の一体的な支援体制が構築された。
プッシュ型のフォローにより、本人からの相談を待たずに不調の兆候を把握し、医師面談やカウンセリングへ早期につなげることが可能となった。
また、健康診断の受診管理および再検査フォローを継続的に実施することで、受診率の向上や未受診者の減少、再検査対応の徹底が図られた。これにより、身体面・メンタル面双方におけるリスクの可視化と適切な対応が可能となっている。
さらに、カウンセリングにおいては、専門的知見を有する心理士による対応体制を構築しており、必要に応じて外部専門機関と連携したアセスメントを実施している。これにより、個々の心理状態を多面的に評価し、より適切な支援方針の策定につなげている。
これらの取り組みを通じて、メンタルヘルス不調の重症化予防、従業員の安心感の向上、企業における健康管理体制の強化および海外赴任者の安定的な就業継続に寄与している。